

第2回 病害虫発生状況調査結果

(7月20日実施)

美方郡広域事務組合

〔 病 害 〕

イモチ・紋枯病とも発生はほとんど見られませんでした。

〔 虫 害 〕

郡内のほぼ全域でセジロウンカの発生が見られました。

本田ではありませんが、休耕田でカメムシ類の発生が見られました。

★ これからの注意点！

① 仕上げ防除は必ず実施しましょう！

現在、カメムシ類の発生は平年並みとなっていますが、畦畔・休耕田などイネ科の雑草が生えている場所ではカメムシが多く発生しています。今後気温が高い状態が続くと、カメムシの大幅な増加が懸念されます。特に昨年までカメムシの斑点米で等級が悪いほ場は、出穂の14日後（籾から乳がでる時期）の防除を励行しましょう。

また、仕上げ防除を実施することによって、セジロウンカ・ヒメトビウンカ等の防除にも効果が見込まれます。

② 畦周り・ほ場内の雑草管理について

出穂直前の草刈りはカメムシがほ場内へ飛び込む要因となります。

出穂の1週間前までには畦畔の草刈りを行なうとともに、ほ場内の雑草（特にヒエなど）の除草を心がけましょう。

また、出穂後にイネ科の雑草に穂がつかないように、草刈りを励行しましょう。